

## お知らせ

資料提供先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ  
山口県政記者クラブ、山口県政記者会  
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

【山口県初】「楠こもれびの郷」(山口県宇部市)において実証実験を開始  
～サイクリング拠点としての観光客誘致と地域内の生活の足や物流の確保に向けた検証を実施～

「楠こもれびの郷」(山口県宇部市)を拠点とした自動運転サービスについて、  
実証実験を3月23日(土)から開始します。

国土交通省では、内閣府SIPの枠組みの中で、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、平成29年度より実証実験を行っています。

このうち、「楠こもれびの郷」を拠点とした自動運転サービスについては、昨年度フィージビリティスタディを行う箇所として選定され、主にビジネスモデルの具体化に向け検討を行ってきました。

今般、楠こもれびの郷をサイクリングの拠点として機能強化し、地域資源を活用したサイクリング周遊ルートの設定により、都市部からの観光客を呼び込むほか、地域内の生活の足や物流の確保に向けて検証を行います。

実証実験の開始に合わせ、試乗会を行いますのでお知らせします。  
(概要は添付資料をご覧ください)

### 【概要】

1. 実験期間 平成31年3月23日(土)～3月28日(木)
2. 実験ルート 楠こもれびの郷～JR厚東駅
3. 試乗会の開催 実施日 平成31年3月23日(土) 11:00から  
場所 万倉ふれあいセンター(山口県宇部市大字西万倉1672番地)  
概要 挨拶、実験概要説明、実験車両試乗等

※報道機関の方で取材、実験車両への試乗をご希望の方は3月18日(月)17時まで  
に以下へ別紙取材FAX申込書を送付下さい。



※本実験は、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システムのプロジェクトの1つとして実施するものです  
(<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>)

### 【問い合わせ先】

〔試乗会及び取材申込みについて〕

山口河川国道事務所 総括保全対策官 松本 まつもと 交通対策課長 大下 おおした  
TEL (0835) 22-1785 (代表) FAX (0835) 23-8973

〔その他全般について〕

中国地方整備局 道路部交通対策課 課長 後藤 建設専門官 井町  
TEL (082) 221-9231 (代表) 井町 いまち  
(082) 511-6288 (夜間)

〔広報窓口担当〕

中国地方整備局 広報広聴対策官 岩下 いわた 企画部 環境調整官 井上  
TEL (082) 221-9231 (代表) 井上 いのうえ

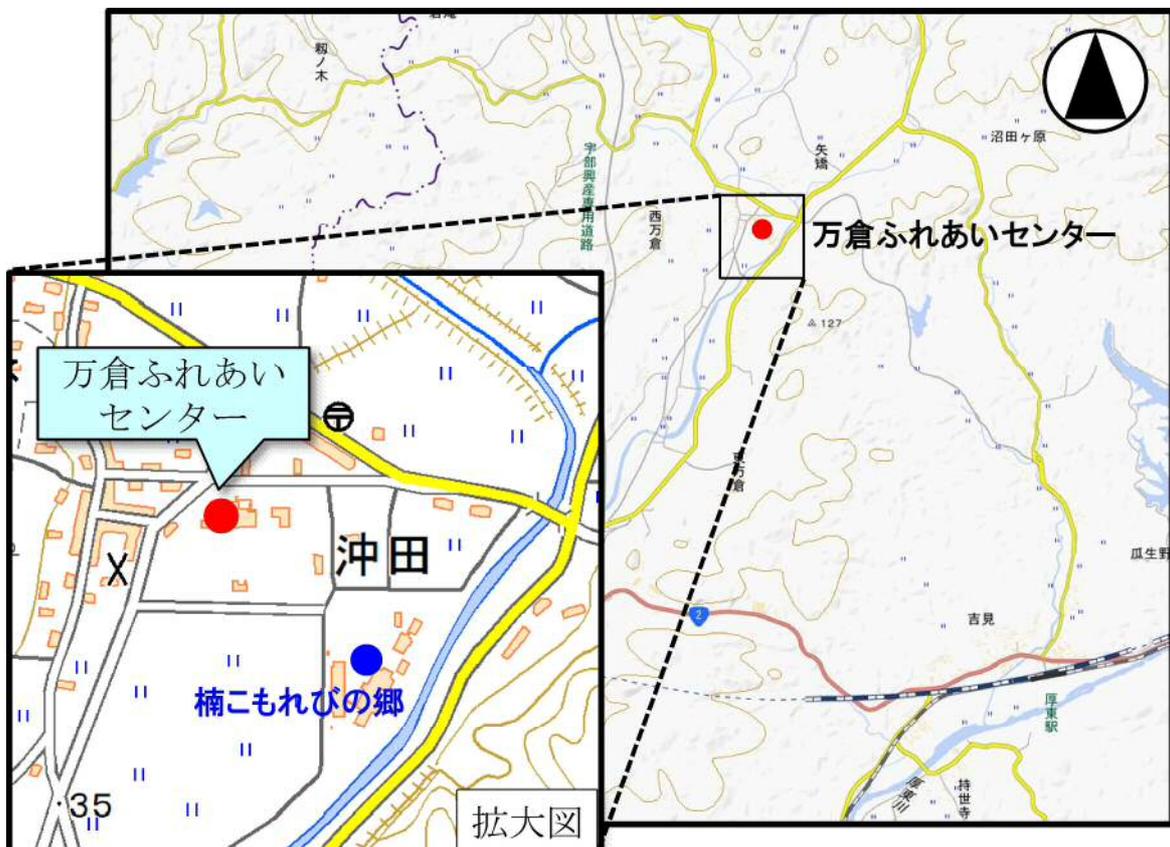
# 「楠こもれびの郷」を拠点とした自動運転サービス ～実証実験開始にあたっての試乗会～

- (1) 日時：平成31年3月23日（土） 11時00分から
- (2) 会場：万倉ふれあいセンター（山口県宇部市大字西万倉<sup>にしまぐら</sup>1672番地）
- (3) 主催：「楠こもれびの郷」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会
- (4) 概要：受付開始 10時30分から  
試乗会開始 11時00分から
  - 1) 挨拶
  - 2) 来賓挨拶
  - 3) 実験概要説明
  - 4) 実験車両試乗

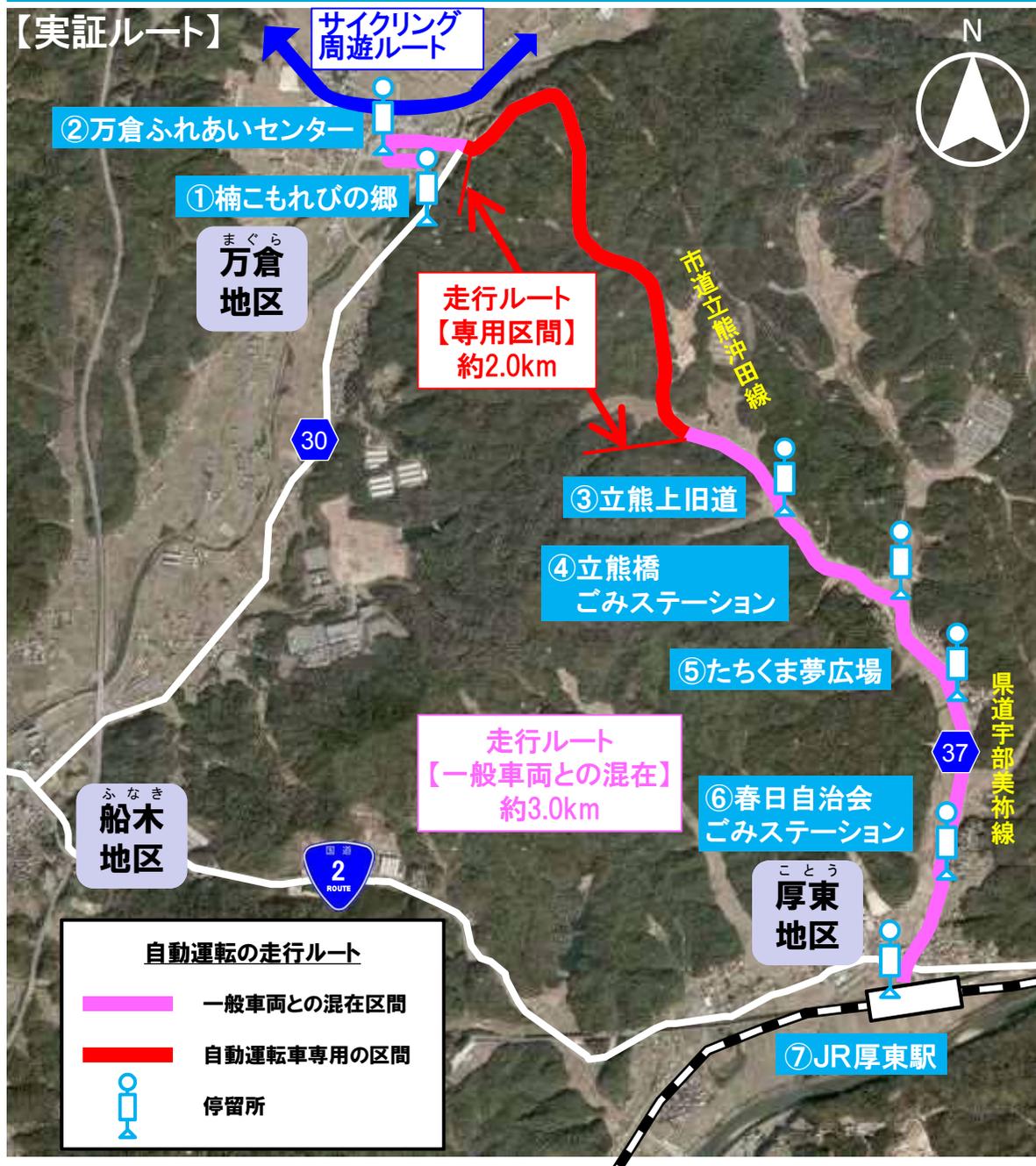
終了 12時30分頃

※試乗会終了後、報道機関の方々や関係者が実験車両に試乗  
※報道機関の方で取材、実験車両への試乗をご希望の方は  
3月18日（月）17時まで別紙取材FAX申込書に  
記入のうえご提出ください。

## ■会場位置図



# 「楠こもれびの郷」を拠点とした実証実験ルート



## （自動運転車の走行周知の例）

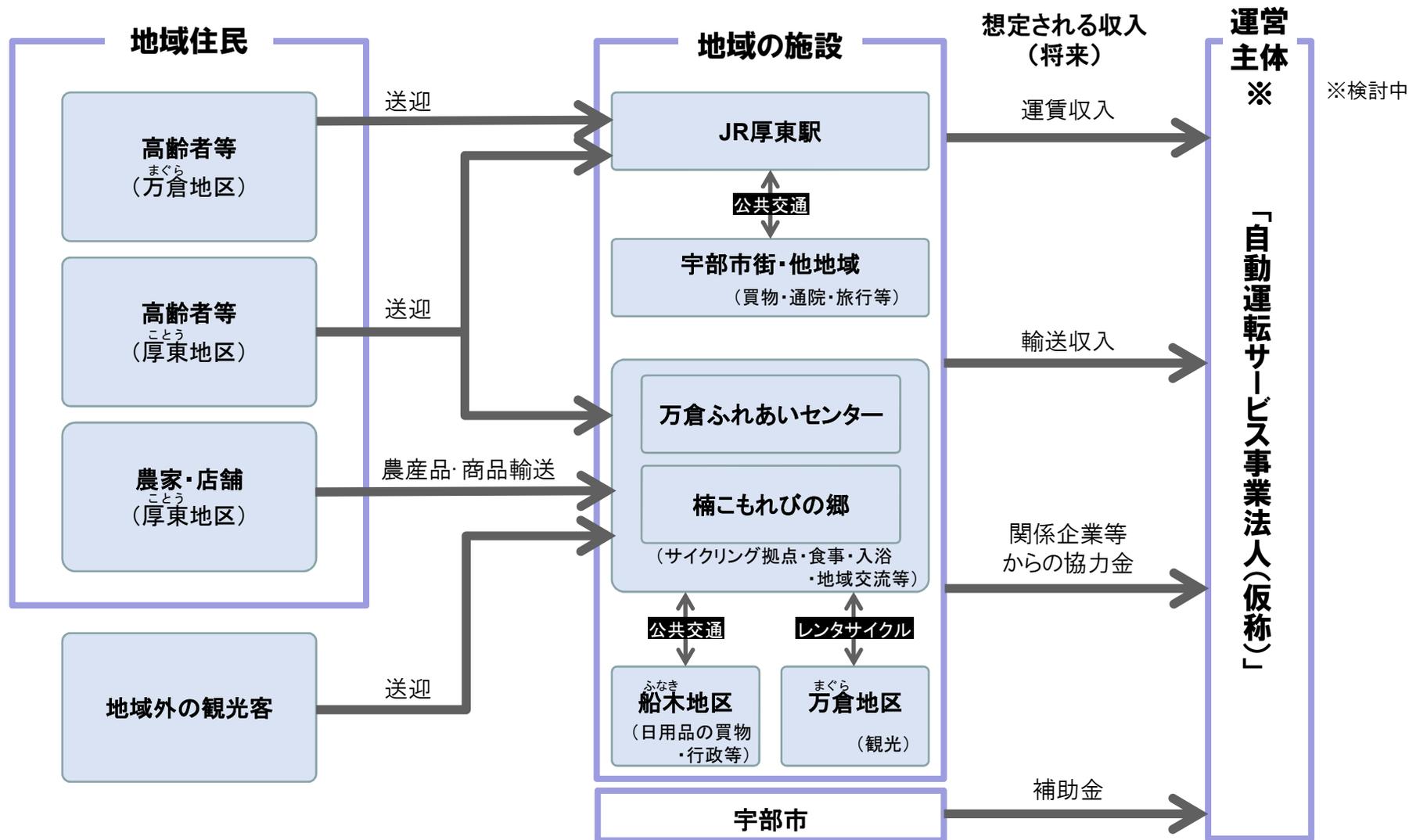


## 【実験スケジュール】

- 試乗会
  - ・3月23日(土) 11:00~12:30
- 実証実験
  - ・3月23日(土) 14:00~16:00 (片道4便)
  - ・3月24日(日)~3月28日(木) 10:00~16:00 (片道10便)

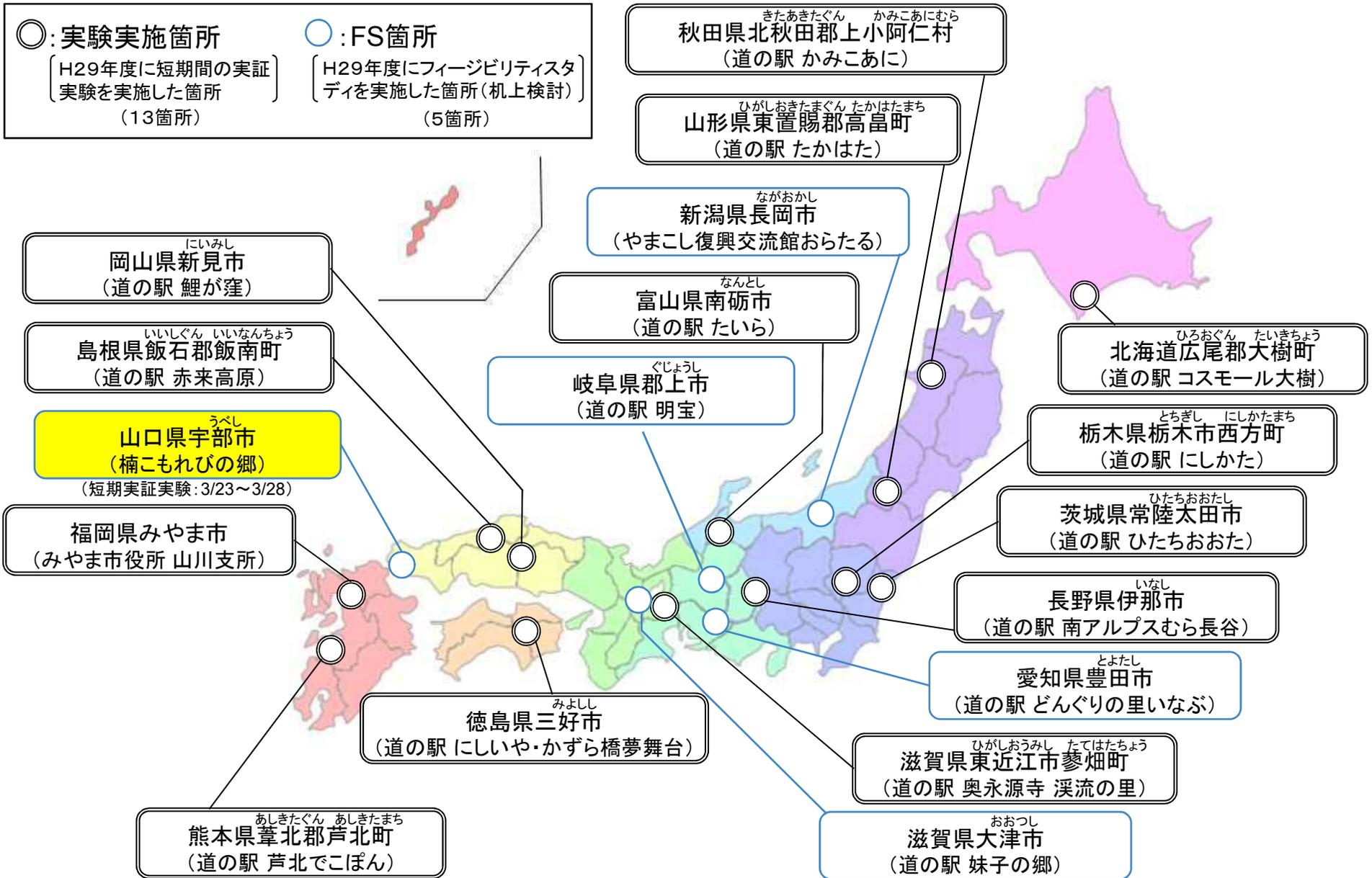
# 自動運転サービスの将来のビジネスモデル(案)(宇部市)

- 高齢者等を楠こもれびの郷やJR厚東駅へ送迎し、高齢者の日常的な生活の足を支援
- 貨客混載により、楠こもれびの郷への農産物・商品輸送により農家・店舗を支援
- 楠こもれびの郷のサイクリング拠点化と連携した観光客の誘致



# 自動運転サービス実証実験 主な検証項目(宇部市)

項目	実験において検証する内容
①道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相互に円滑な通行のための道路構造の要件                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・後続車の追越や対向車の離合を考慮した幅員</li> <li>・見通しの悪い交差点、信号なし交差点の通行</li> </ul> </li> <li>○自動運転に必要となる道路の管理水準                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・路肩駐停車車両</li> </ul> </li> <li>○中山間地域の特性を活かした走行空間の確保方策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用の走行空間確保(交通量が少なく他の道路で代用可能な区間)</li> <li>・自動運転車の走行路の路上明示 等</li> </ul> </li> <li>○運行管理の方策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両からのリアルタイム情報により運行管理</li> </ul> </li> </ul>
②地域環境	○積雪等による、LiDARの検知能力
③コスト	○車両の維持管理コスト
④社会受容性	○輸送サービスの受容性 <span style="float: right;">○周辺交通への影響、自動運転技術への信頼性</span>
⑤地域への効果	<p>&lt;提供サービスについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域高齢者の移動支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップサービスが可能な、小さな拠点(楠こもれびの郷・万倉ふれあいセンター)への自宅からの移動</li> <li>・既存の公共交通機関(船鉄バス等)との連携</li> </ul> </li> <li>○円滑な地域内物流の支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚東地区の店舗から楠こもれびの郷への商品の配送実験(配送商品の損傷・荷崩れの検証含む)[検討中]</li> </ul> </li> <li>○地域外観光客の移動支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車や地域資源を活用した観光客の誘致</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;運営主体について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運営主体のあり方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体や交通事業者等の役割分担</li> </ul> </li> <li>○採算性確保の方策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の利用ニーズ(支払い意思額、求めるサービスレベル等)</li> <li>・将来の地域の協力体制(企業支援等)</li> </ul> </li> </ul>



# (参考)実験車両

バスタイプ	乗用車タイプ
<p><b>①株式会社ディー・エヌ・エー</b></p>  <p>「車両自律型」技術 〔GPS、IMUにより自車位置を特定し、規定のルート进行 (点群データを事前取得)〕</p> <p>定員： 6人 (着席)           (立席含め10名程度) 速度： 10km/h程度           (最大:40km/h)</p>	<p><b>③ヤマハ発動機株式会社</b></p>  <p>「路車連携型」技術 〔埋設された電磁誘導線からの磁力を感知して、既定ルートを走行〕</p> <p>定員： 6人 速度： 自動時 ~12km/h 程度           手動時 20 km/h未満</p>
<p><b>②先進モビリティ株式会社</b></p>  <p>「路車連携型」技術 〔GPSと磁気マーカ及びジャイロセンサにより自車位置を特定して、既定のルートを走行〕</p> <p>定員： 20人 速度※： 35 km/h 程度           (最大40 km/h)</p>	<p><b>④アイサンテクノロジー株式会社【今回使用】</b></p>  <p>「車両自律型」技術 〔事前に作製した高精度3次元地図を用い、LiDAR(光を用いたレーダー)で周囲を検知しながら規定ルートを走行〕</p> <p>定員： 4人 (乗客2人) 速度※： 40km/h 程度           (最大50 km/h)</p>

※速度は走行する道路に応じた制限速度に適合

GPS : Global Positioning System, 全地球測位システム IMU : Inertial Measurement Unit, 慣性計測装置

## 取材・実験車両への試乗 FAX申込み書

取材・実験車両への試乗を希望される報道関係者は、本紙で事前登録をお願いします。折り返し、お車でお越しの方には駐車証を送付させていただきます。

また、以下の事項に十分留意いただき、行事の円滑な遂行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ **3月18日（月）17時まで**に必ず**本紙で事前登録**をお願いいたします。

試乗は1社2名まででお願いします。事前登録がされていない場合、実験車両への試乗はできません。

◆ 駐車台数は会場の都合により、原則として1社1台でお願いします。

中継車などの大型の放送機材車両の駐車が必要な場合には、別途事前にご相談ください。

◆ 送付された駐車証を持参のうえ、会場付近では誘導員の指示に従ってください。

◆ 当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用して頂きますようお願いいたします。

◆ 異常気象等により実験車両の試乗走行を行わない場合があります。

国土交通省中国地方整備局

山口河川国道事務所 交通対策課 自動運転実証実験担当 宛 FAX番号：0835-23-8973

平成31年3月18日（月） 17時〆切

貴社名	
ご参加人数	人（うち試乗希望 人）
ご担当者氏名	氏名
	所属部署名
ご連絡先	郵便番号 〒
	住 所
	電話番号
	FAX番号
	E-mail
車両ナンバー	

※送付状は不要ですので、必要事項を記載のうえ本紙のみをFAXして下さい。